



浜松医科大学小児科学雑誌の第4巻発刊によせて

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 浜松医科大学小児科学雑誌編集部 公開日: 2024-03-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 宮入, 烈 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10271/0002000086

浜松医科大学小児科学雑誌の第 4 巻発刊によせて

2024 年は、元旦の能登半島地震、翌日の日本航空機と海上保安庁機衝突事故と大変辛い出来事をもって始まりました。多くの方が亡くなられたことについて、心から哀悼の意を表すとともに、今なお続く避難生活や二次被害に苦しむ皆様にお見舞い申し上げます。

このような現実を直視し、我々も医療者として災害のリスクに向き合う必要があります。未来への備えは、過去の教訓を生かすことから始まります。2011 年の東日本大震災については、小児医療にかかわる多くの記録が残されています。災害発生の超急性期の外傷対応、急性期から亜急性期の被ばく者への対応、被災された方々への日常的な医療提供、長期にわたる健康への不安に対する県民健康管理、こころのケア、小児科医の役割に至るまで、紙面を通して学ぶことが出来ます。

本誌も同様に、史実を忠実に残し小児医療に貢献することがその使命となっています。全文を浜松医科大学学術機関レポジトリに掲載し、広く公開していますので、その役割が果たされるものと確信しております。

今回も多くの投稿をいただき、総説 1 編に加え、原著 1 編、症例報告 5 編の計 7 編の論文の掲載に至りました。論文の質を保つためには経験のある先生方の献身が必要ですが、査読を担当いただいた先生方、特に編集委員長である飯嶋重雄先生の多大な貢献に感謝申し上げます。

浜松医科大学小児科学講座

宮入 烈

参考文献

細矢 光亮. 私が経験した東日本大震災・東電原発事故. 日本小児科学会雑誌 2022; 126: 1357-1370.